セミナーレポート

（一社）新エネルギーO&M協議会・第3回「O&M技術セミナー」
変わる技術・基準・制度に対応する知見共有

一般社団法人新エネルギーO&M協議会（JOMARE）は、第3回目となる産業用太陽光発電所に関する「O&M技術セミナー」を12月5日に東京・新橋で開催した。第3回のテーマは「法面からの土砂流出」、「雑草対策（薬品／防草シート）」、「遠隔データの活用」、「低圧太陽光発電所の集約化」など多岐にわたり、太陽光発電所のO&Mについての最新情報が共有された。

発電所敷地管理の基礎と最新動向

第一部は「土砂流出発電所を簡単・ローコストに改修」と題し、丸八土建代表取締役・橋本智弥氏が「ポリソイル緑化工」の活用事例を紹介した。ポリソイルは沖縄の赤土流出防止のために開発された非イオン系高分子の土壌侵食防止剤で、土壌表面に散布するだけで土粒子間に浸透し、一日後には乾燥して団粒化、浸食を防ぐ。このポリソイルに種子、肥料などを調合し吹き付けるのがポリソイル緑化工で、ハイドロシーダー（種子散布機）搭載車による施工後一晩で安定すれば、侵食防止効果は半年から一年の耐用期間があり、時間雨量100ミリメートル程度までの耐降雨強度を備え確実な緑化が期待できる。

第二部は「今から準備する来年の雑草対策」と題して、丸善薬品産業アグリ事業部東日本営業部東京アグリ課・岡崎俊輔氏が、除草剤による「体系防除」について解説した。体系防除はスケジュールを立て防除の体系を組むことで、薬剤の種類を時期や草種によって変え、草刈・防草シートなど物理防除も利用する。来年の雑草を想定して薬剤・物理防除を検討し、例えば種を落とす前に草刈を入れるなど、年間を通した作業とすることが重要となる。

第三部は「防草シート最大のネックを解消」と題して、白崎コーポレーション太陽光O&M特販営業部エリアマネージャー・鎌田弘章氏が、雑草対策の場面や目的に応じた防草シートの効果的な使用法や、防草シートを用いた10年保証とリースによる同社の新しいサービスについて話した。10年保証は防草シートを太陽光発電所に全面張りし、雑草が発電に影響を与えない状態を保証するもの。リースは防草シートの商品代とその施工代をリースにより提供するもので、リース期間は最長7年となっている。

最後に行われた質疑応答の模様

FIT制度抜本見直しに伴う新たな動きも

第四部は「発電量低下要因をデータ解析から特定する」と題して、エナジービジョン代表取締役・奥山恭之氏が、遠隔監視で入手できる基本的なデータを表計算ソフトなどで解析し、太陽光発電所の不具合要因を特定する手法について説明した。まず長期的な発電量の傾向について、1年間を基本単位とした「移動平均」で時系列データの傾向を読み取る。そこで顕著な低下傾向が見られれば、PCS単位の監視データなどからエリアを特定する。また低下が始まった時期は、晴天日の相対データを比較することで把握できる。現場写真との照合や、季節による要因なども考慮し、発電量を低下させる原因を絞り込む。

第五部は「動き出した低圧発電所の集約化の構想とは!?」と題して、新エネルギーO&M協議会専務理事・大門敏男氏が、低圧発電所の維持・管理リスクとオーナーの利益について考察し、集約化のメリットについて講演した。低圧太陽光発電所の運転・維持管理の費用は、同協議会の試算によれば年平均で55万5000円。FIT終了後の21年目以降も費用は掛かる。適正な収益に貢献するO&Mのためには、O&M側から一部の保守点検について発電事業者のDIYを求めることも必要になる。例えば定期点検、駆け付けなど専門性の高いものをO&M事業者が担い、目視点検や遠隔監視データの解析などは発電所オーナーがDIYで行う。同協議会では発電事業者向けの研修も検討している。また同協議会は、低圧を中心とした小規模な発電所の事業運営の集約化の取組に参画している。資金調達、分散・組合せ効果、規模の利益などの面でメリットを生み出せるという。

新エネルギーO&M協議会は定期的に技術セミナーを主催しており、会員・入会検討中の非会員が聴講できる。なお2月6日（木）には関連団体である新エネルギー革命会、一般社団法人日本PVプランナー協会、一般社団法人あきた太陽光・小型風力発電協会と4団体で、「地域に活かすPVシンポジウム」を共催する。省庁担当者に加えて、先進的な地域エネルギー事業を推進する地方自治体や各企業の代表が登壇する。

太陽光発電所用モニタリングシステム
マイデルタ・ソーラーモニタリングシステム
スマホで簡単パワコン設定!
出力制御機能標準対応
データコレクター「PPM-D1J_100」購入設置するとソフトウェアを無償提供
DELTA デルタ電子株式会社
東京: 03-5733-1267 大阪: 06-4798-0555
http://www.delta-japan.jp/

世界最大級※1 1,520社※2出展! 主力電源化へのトレンドを網羅

第16回 スマートエネルギーWeek

第16回 国際 水素・燃料電池展
第10回 国際 スマートグリッドEXPO
第4回 次世代 火力発電EXPO
第13回 国際 太陽光発電展
第8回 国際 風力発電展
第2回 資源リサイクルEXPO
第11回 国際 二次電池展
第5回 国際 バイオマス展

会期: 2020年2月26日(水)～28日(金) 10:00～18:00 (最終日のみ17:00まで)
会場: 東京ビッグサイト　主催: リード エグジビション ジャパン(株)

※1 同種の展示会との出展社数および製品展示面積の比較。※2 予定 ※3 同時開催展を含む総講演数

併催セミナー 計200※3講演　定員になり次第締切! お申込みは今すぐWebへ

SG-K 基調講演 有料 ※VIP無料　2月28日(金) 12:30～14:00

脱炭素実現のための電力レジリエンスとは

電力システムの信頼性とレジリエンス
電力広域的運営推進機関
理事長
金本 良嗣

持続可能でレジリエントな電力システムの実現に向けた取組み
東京電力パワーグリッド(株)
取締役副社長
岡本 浩

敬称略。セッションの録音、写真・動画撮影などは一切禁止させていただきます。都合により講師、プログラムの内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。なお、掲載枠上、講師の役職・所属を省略させていただいている場合もございます。

招待券申込み・セミナー詳細は ▸▸▸ スマートエネルギーWeek 検索
主催者 リード エグジビション ジャパン(株)
展示会事務局 TEL: 03-3349-8576